【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公開番号】特開2016-7743(P2016-7743A)
【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2016-004
【出願番号】特願2014-128891(P2014-128891)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/175　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/175　１７１
Ｂ４１Ｊ　2/175　１４１
Ｂ４１Ｊ　2/175　１１９
Ｂ４１Ｊ　2/175　１１３

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月13日(2017.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液体噴射装置に装着可能な液体供給ユニットであって、
第１の壁部と、
前記第１の壁部に対向する第２の壁部と、
前記第１の壁部と前記第２の壁部とに交差する第３の壁部と、
前記第１の壁部と前記第２の壁部との間に位置する第１液体保持部材と、
前記第２の壁部と前記第１液体保持部材との間に位置する第２液体保持部材と、
を有し、
前記第１の壁部に開口が形成され、前記開口から前記第１液体保持部材の少なくとも一部が外方に露出し、
前記第２の壁部または前記第３の壁部に大気孔が形成され、
前記第１液体保持部材に第１の大気連通部が形成され、
前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向に前記第１の壁部を平面視したとき、前記第１の大気連通部の少なくとも一部は前記第１の壁部に重なる位置に配置され、
前記第１の大気連通部は前記開口と前記大気孔を接続する大気連通路の一部を構成する、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項２】
請求項１に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面に第１の大気連通構造が形成され、
前記第１の大気連通構造は、前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面に形成された凹部と前記第２液体保持部材との間の空間を含み、前記大気連通路の一部を構成している、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項３】
請求項１に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面に第１の大気連通構造が形成され、
前記第１の大気連通構造は、前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面に形成され

た２つの凸部と前記第２液体保持部材との間の空間を含み、前記大気連通路の一部を構成している、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項４】
請求項２または請求項３に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向に前記第１の壁部を平面視したとき、前記第１の大気連通部の少なくとも一部は前記第１の大気連通構造の少なくとも一部に重なる位置に配置される、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項５】
請求項４に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の大気連通部において大気が移動する流路方向とは交差する方向かつ前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向とは交差する方向における大きさは、前記第１の大気連通構造において大気が移動する流路方向とは交差する方向かつ前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向とは交差する方向における大きさより小さい、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一項に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１液体保持部材に第２の大気連通部が形成され、
前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向に前記第１の壁部を平面視したとき、前記第２の大気連通部の少なくとも一部は前記第１の壁部に重なる位置に配置され、
前記第２の大気連通部は、前記開口と前記大気孔との間の大気の移動を可能にする前記大気連通路の一部を構成する、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の大気連通部は、前記第１液体保持部材のうち前記第２の壁部に対向する面とは反対側の面に形成された凹部である、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項８】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の大気連通部は、前記第１の壁部から前記第２の壁部に向かう方向に前記第１液体保持部材の一部が開口する開口部である、ことを特徴とする液体供給ユニット。
【請求項９】
請求項１乃至請求項８のいずれか一項に記載の液体供給ユニットであって、
前記第１の壁部は前記開口を取り囲む肉薄部と、前記肉薄部の周囲に位置し前記肉薄部より肉厚の肉厚部と、を有し、
前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面とは反対側の面において前記肉薄部と前記肉厚部との境界に段差が形成され、
前記第１の壁部の前記第２の壁部に対向する面において前記肉薄部と前記第１液体保持部材の前記第１の大気連通部とが重なる、ことを特徴とする液体供給ユニット。